

## 平成29年度 第2回市長タウンミーティング概要

と き：平成29年4月15日(土)  
午後7時～午後8時30分  
ところ：東公民館  
参加者：93人

### ○市長あいさつ

(市長より、平成29年度の施策・予算についての説明が行われました。)

### ○意見交換

#### 質問（女性）

地域活動やボランティア活動をする際、東公民館や老人福祉施設けやき荘を利用していますが、利用者が多く、部屋が借りられない場合があります。市民の活動の場を広げていくためにも、平屋建てのけやき荘を増築していただけないでしょうか。

#### 回答（市長）

コミュニティが豊かな蕨では、市民の皆さんの地域活動が活発に行われており、その活動の拠点となる公民館等の公共施設は、古い建物が多いことから、耐震化を順次進めています。本来ならば改修も併せて行いたいところですが、限られた財源の中で事業を推進していることから、耐震化を優先的に進めている状況です。こうしたことを踏まえ、けやき荘の増築については、今後老朽化が進み、施設の在り方を検討する際の参考とさせていただきますが、すぐに実行するのは難しい状況ですので、ご理解いただければと思います。しかし、施設の拡充により、活動の場が更に広がっていけばいいな、という声はしっかりと受け止めさせていただきます。

#### 質問（男性）

各地域にある町会会館の老朽化が見られます。今後、改修や耐震化はどのように行っていけばよろしいのでしょうか。

#### 回答（市長）

町会会館は、会員どうしの交流や地域づくりを推進していくための拠点として、町会の皆さんの手によって建てられたものです。そうしたことから、改修や耐震化については、それぞれの町会の積立等によってご対応いただくことに

なりますが、一定の条件を満たせば、市の補助もご活用いただけますので、詳細については担当の安全安心推進課にご相談いただければと思います。

#### 質問（男性）

塚越7丁目にある、あづま公園の外柵や縁石の一部が破損しているのですが、修繕をしていただけないでしょうか。また、園内にあるケヤキの木は、落葉樹のため清掃に苦勞しているのですが、対応していただけないでしょうか。

#### 回答（市長）

老朽化している公園の対応については、限られた財源の中で優先順位をつけて取り組んでおり、安全性に関わる物は、迅速に対応しています。まずは、担当に現地を確認させて、対応を検討してまいります。

（道路公園課より 現地を確認し、外柵や縁石に関しては、今後の検討課題とさせていただきます。また、ケヤキの木は今年の秋頃に剪定する予定です）

#### 質問（男性）

東小学校のPTAに携わっています。1点目は外国人児童への日本語の指導や心のケア、その保護者へのフォローはどうなっているかをお聞きします。

2点目は塚越地区の銭湯が閉店してしまったため、合宿通学の際、子どもたちの入浴場所の確保を懸念しています。なにかよい案があればご教示ください。また、例えば、けやき荘に入浴施設を整備するといった案はいかがでしょうか。

3点目はコミュニティ・スクールという仕組みを文部科学省では推奨していますが、蕨市としての対応はいかがでしょうか。

#### 回答（市長）

1点目の日本語の指導に関しては、従来から行っている日本語ボランティアの皆さんによる支援や外国人の児童生徒が多い学校への教員の加配などに加え、新年度からは、福祉・児童センター内の教育センターに、中国語と英語ができる日本語特別支援教育支援員を配置し、その指導に当たっています。新たに配置した支援員は、日本語が理解できない状態で編入学してくる児童生徒が学校生活をスムーズに送れるよう、一定期間、指導に当たるとともに、付き添いでお越しになる保護者へのフォローも行っていきます。また、教育センターは相談機能も備えていることから、子どもたちの心のケアについても配慮し、細やかな対応を図っていきます。なお、日本語ボランティアの人材確保については、公民館での講習会を通じて行っています。

2点目の合宿通学についてですが、他の地区では、地域住民宅のお風呂をお借りする「もらい湯」という方法で入浴をしているケースや市外の銭湯へ足を運

ぶケースもあり、塚越地区ではどのようなスタイルがよいのか、検討をしていく必要があります。なお、けやき荘に入浴施設を整備するご提案は、先ほどのお話しにもあったように、限られた財源の中で優先順位をつけて事業を推進している現状の中、難しい状況ですので、ご理解いただければと思います。

3点目のコミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんが知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることによって、子どもたちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを進める仕組みです。こうした理念は素晴らしいとは思いますが、現実的に公立学校で実施するのは、難しい面があると思います。市では現在、地域住民の皆さんで構成する学校評議員会や学校応援団の取り組みにより、開かれた学校づくりを進めており、コミュニティ・スクールの理念にも一部即した形となっています。今後も地域住民の皆さんと連携しながら、地域に根差し、より開かれた学校づくりを推進していきます。

#### 質問（女性）

蕨駅東口から旧プライスにかけて整備された道路は、なぜ、車道がスラローム状にデザインされているのでしょうか。また、道路上に埋め込まれて段差の原因となっている青く丸い物、道路上に引かれている白線にはどのような意味があるのでしょうか。

#### 回答（市長）

昨年度整備をした東口コミュニティ・ショッピング道路は、安全で快適な歩行空間の確保等を目的に、車の速度抑制や進入抑制を図る構造としています。

車道をスラローム状にデザインしたのは、運転者へ視覚的に訴え、車の速度抑制を図るためです。また、車道に埋め込んでいる青く丸い物は、道路反射鋸とって、夜間に光を反射させることで車道を明確にするものです。なお、この道路反射鋸によって生じている段差は、現段階では歩行者の支障にならない程度と考えていますが、今後もその反応を見守っていきたいと思います。白線については、法律上、車両と歩行者の通行区分を分離する必要があるため、白の実線を引いたものですので、ご理解ください。

#### 質問（男性）

来年4月に予定されている国民健康保険の広域化に伴い、蕨市の保険税が現状よりも約1.8倍増となる試算が埼玉県から出ています。蕨市としてどのような対応をお考えでしょうか。

#### 回答（市長）

国民健康保険は、他の医療保険制度に比べて保険税が相対的に高くなっており、そうした状況を踏まえ、蕨市では市民の健康を守るための施策として、一

般会計から国民健康保険特別会計への繰出金により、保険税を抑制してきました。しかし、来年4月からは法律の改正に伴い、これまで市町村で運営をしていた国民健康保険は、都道府県が財政主体となって市町村とともに運営を行う、広域化が図られることとなります。この広域化により、県内一律の税率となった場合は、元々の保険税が低い歳では、約1.86倍に上がるとの試算が出ていますが、最終的には市町村で税率を判断できることとなっています。加入者に高齢者が多く、医療給付費が増加していることから、一定の見直しは必要と考えていますが、県が示す保険税率へ直ちに変更するのではなく、市民の暮らしや健康を守るという考えに基づき、今後の財政状況や医療給付費の伸びの見込みなどを総合的に勘案しつつ、低所得者層の負担を配慮し、検討を進めていきます。

#### 質問（女性）

先ほど、合宿通学の際に利用できる入浴施設が塚越地区にはないというお話が出ましたが、塚越小学校脇の留守家庭児童指導室に整備することはできないのでしょうか。

#### 回答（市長）

塚越地区B館の留守家庭児童指導室に入浴施設を整備するというご提案ですが、留守家庭児童指導室は日中、仕事等で保護者が不在の子どもたちに生活の場を提供する施設で、保育中の児童たちは入浴施設を利用しないことやスペース的にも十分でないことから、現実的には難しい状況です。しかし、市民の皆さんの多様なアイデアは市政運営を進める上で大変貴重なものです。ありがとうございました。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。